

## サステナビリティに関する方針

制定：平成 27 年 2 月 10 日

三井不動産フロンティアリートマネジメント株式会社

### 1. 目的と背景

三井不動産株式会社グループは、社会・経済の発展と地球環境の保全に貢献すべく、「& EARTH」のビジョンのもと、「環境負荷の低減」、「様々な主体との多様な連携・協力」および「安全・安心、快適性の向上および持続可能性の確保」を柱とする「環境への取り組みの方針」を定め、その実践に努めています。

一方、グローバルの不動産投資運用業界においては、国連責任投資原則（PRI）およびその不動産版である「責任ある不動産投資」（RPI）が提唱する運用業務の全般における環境・社会・ガバナンス配慮の組み込みの重要性が広く認識されつつあります。これは、各国における環境規制の強化や顧客意識の変化などを踏まえ、環境等への配慮は中長期的な資産価値の維持向上のために不可欠であるという考え方です。

当社はフロンティア不動産投資法人（以下、「投資法人」）の資産運用会社として、投資家の満足度（＝投資主価値）の最大化をモットーに中長期的な安定収益の確保を目指した運用を行っています。そのためには、業務全般における環境等への配慮とそれに向けたステークホルダーとの協働、またそれらの取組みの適切な開示がますます重要になっていくと考えており、ここに「サステナビリティに関する方針」（「当方針」）を策定します。当社は当方針を日々の業務において実践し、その取り組み状況につき適切なコミュニケーションを図っていきます。

## 2. サステナビリティに関する方針

### (1) 環境負荷の低減

#### ①省エネルギーを通じた CO<sub>2</sub> 排出削減

運用における節電や省エネルギー対策を推進すると共に、省エネ等に資する設備の導入を図り、CO<sub>2</sub> 排出削減に貢献します。

#### ②水環境の保全と省資源・廃棄物削減

省資源・循環型社会の実現に貢献するため、節水に資する機器の導入や3R（リデュース、リユース、リサイクル）に取り組みます。

#### ③有害物質削減と安全衛生

有害物質を削減し、不動産利用者の健康への影響や環境負荷を低減する取り組みを推進します。

### (2) 様々な主体との多様な連携・協力

#### ①地域コミュニティとの共生・連携

人や情報の交流の場を提供し、地域活性化への貢献を図るべく、「地域コミュニティの核」となる商業施設の運営を目指します。

#### ②三井不動産グループおよびテナント等との協働

三井不動産グループやテナント企業と協働して快適かつ環境に配慮した商業空間の創出に努め、顧客満足度の向上や、来客者のサステナビリティ意識の醸成などを目指します。

#### ③役職員への取り組み

環境研修を含む体系的な教育・啓発活動や、多様な働き方の支援により、役職員の環境意識や能力の向上とワークライフバランスの実現に努めます。

#### ④投資家との信頼関係の構築

投資家の皆さまとの信頼関係を構築するため、財務情報の適切な開示に加え、環境・社会を含む非財務情報についても、可能な範囲で積極的かつ速やかな開示を行ってまいります。

以上